WELL-DO

快適生活情報誌 ウェルドゥ
AUTUMN-2015 Vol.36

feature特集 MODERN SCANDINAVIAN ARCHITECTURE

北欧モダニズム建築の魅力

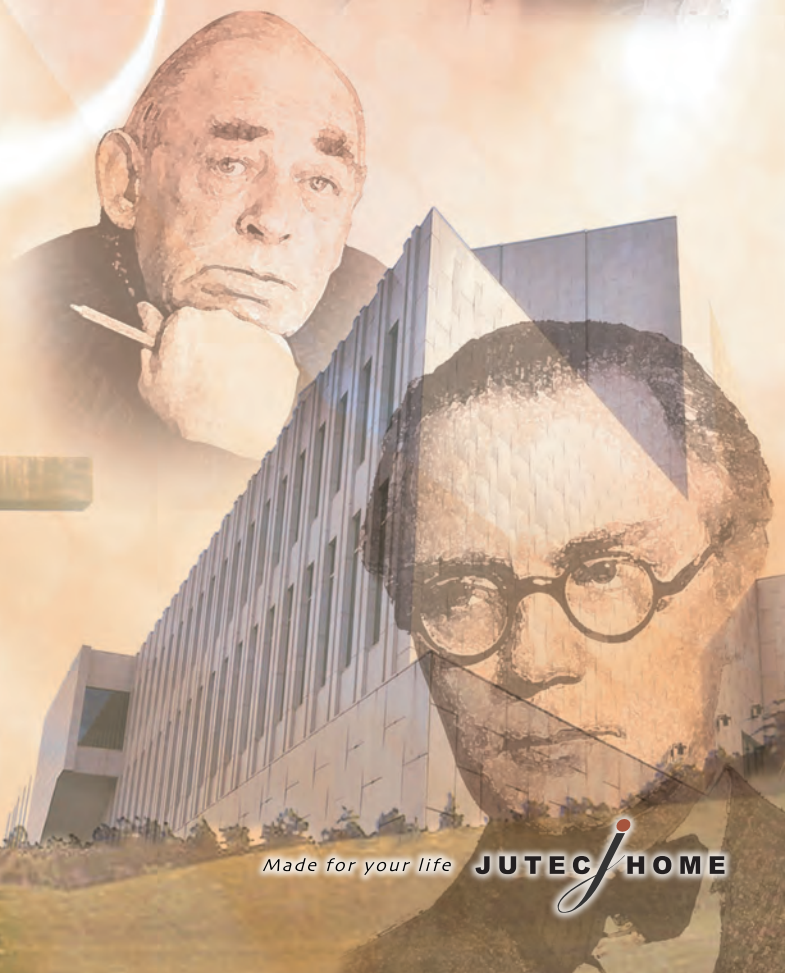
我が家の快適日和
Living inspection

絶妙なデザインと機能性が奏でる
光・風・木のハーモニー。

Harmonicity & Impression ※神奈川県・K邸

悦楽時間の住人

第31話 北欧建築史家 東海大学国際文化学部教授 伊藤 大介さん



WELL-DO Check!!

壁紙の簡単リフォームでリフレッシュ!
北欧デザイン壁紙

Weekend Hiking Autumn 週末ハイキング案内

二子山 西岳・東岳

北欧スイーツキッチン

北欧のおいしいお菓子㉘ マウステカック(スパイスケーキ)

Information ※ **お絵かきコンクール2015 作品募集中!**

Exhibition ※ **マルモッタン・モネ美術館所蔵 モネ展—「印象、日の出」から「睡蓮」まで**

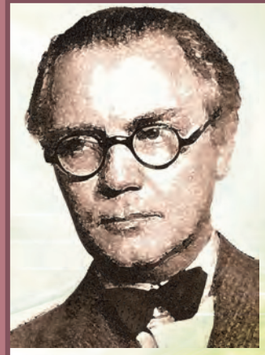
Present ※ **アルヴァ・アールトデザインの フラワーベースを 抽選で2名様にプレゼント!**

Made for your life JUTEC HOME

feature特集 MODERN SCANDINAVIAN ARCHITECTURE

北欧モダニズム建築の魅力

北辺の美しくも厳しい自然環境と北欧モダニズムによって生み出された機能的で洗練された北欧建築。
20世紀の北欧建築は、家具や照明、ファブリックなどのモダンデザインとともに深化してきた。自然との関わり、機能的で快適な空間、インテリアとの調和…。
そんな魅力あふれる北欧建築を、北欧モダニズムを代表する3人の巨匠〈アスプルンド、アールト、ヤコブセン〉を中心に探ってみましょう。



Erik Gunnar Asplund

エーリック・グンナール・アスプルンド (1885–1940)

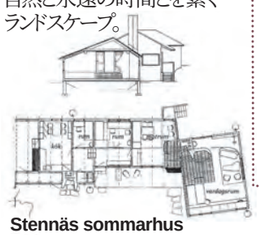
20世紀を代表するスウェーデンの建築家。シーグルド・レヴェレンツとともに手掛けた「スコーグスシュルコゴーデン（森の墓地）」で知られ、モダン建築の先駆者として、多くの建築家に多大な影響を与えた。自然に共生し「建築とは人間らしくあるべきだ」という意志のもと、建築を単に造形としてではなく、人の心理や意識に影響を与える空間として捉えた。アートを志した幼少期、若くして幼い息子を亡くした想いが、建築思想にも色濃く表れている。生涯に手掛けたその作品はけっして多くはないが、いずれも生命の営みの場として深く精神世界へ踏み込んだもので、自然への共鳴、人の心へと向けられる細やかな配慮——完璧主義のなかに、そんなさりげないやさしさが感じられる。

主要作品
- スネルマン邸 1918
- 森の礼拝堂 1920
- スカンディア・シネマ 1923
- ストックホルム市立図書館 1928
- ブレーデンベリ・デパート 1935
- イェーテボリ裁判所 1937
- 夏の家 1937
- 森の火葬場・森の墓地 1940
- シェヴデ火葬場 1940

Skogskyrkogården
森の墓地

アスプルンドの代表作にして、生涯を捧げた作品。「森へと還る」という死を真摯に捉え、スウェーデンの精神世界に深く踏み込んだ作品は、今も変わることなく社会に寄り添って存在している。20世紀以降の建築作品としては最初のユネスコ世界遺産（1994年）でもある。彼もまた墓地の一画で静かに眠っている。

自然と永遠の時間とを繋ぐランドスケープ。



Stennäs sommarhus
夏の家

アスプルンド建築の縮図とされる〈夏の家〉。自らが休日を過ごす家として、静かな入り江を望む緑豊かな環境に建てられた。自然の斜面を活かした変化に富んだ設計、農家をイメージした緩い仕上がり、さりげないアイデアに満ちたゆったりと心地よい空間である。

Stockholms stadsbibliotek
ストックホルム市立図書館

ずっと市民に愛され続けているストックホルム市立図書館は、オレンジ色の円形ホールと直方体のフロアで構成された幾何学的な構造。巨大な円形ホール内部は、360度ぐるりと本が並ぶ開放的な書架となっていて、まさに壮観。自然光と照明の絶妙なバランス、その設計は図書館としての機能性とともに、本の美しさを引き立てている。

Arne Emil Jacobsen

アルネ・ヤコブセン (1902–1971)

北欧モダンデザインの中心人物として、建築・インテリア・プロダクトなど数々の名作を手掛けた。とくに家具においては、〈アントチェア〉など数々の傑作を生み出し、日本では家具デザイナーとしての認知度が高い。建築を家具・インテリア・サインなどトータルパッケージとして捉え、自然を建築に組み入れるという発想で、自然をもデザインの一部とみなした。機能的伝統の価値観、秩序と調和の美が優先されるデンマークにおいて、当時、先進的なそのデザインは必ずしも好意的に受け入れられなかったが、現在ではデンマークの代表的モダン建築として高く評価されている。感性に訴えるデザインが時代を超える——その発想で手掛けられた家具やプロダクトは半世紀を経ても色褪せない輝きを放っている。

時代を先取りしたトータルデザイン。

Bellevue beach ベルビュー海水浴場
ヤコブセンが手がけたリゾートプロジェクト。ビーチ監視タワー、ボートハウスなどの海岸施設、ビーチ周辺施設までトータルでデザインして、世界の注目を集めるきっかけになった。

主要作品
- ベルビュー海水浴場 1932
- ベラヴィスタ集合住宅 1934
- オーフス市庁舎 1942
- スーホルム集合住宅 1950
- ロドオウア市庁舎 1956
- コペンハーゲン中央駅 1959
- SASロイヤルホテル 1960
- 実験住宅クーブ・フレックス 1970
- デンマーク国立銀行 1971

Roman（ローゼンダール）
オーフス市庁舎のためにデザインされたウォールクロックを忠実に再現。

Rødovre Town Hall
ロドオア市庁舎

ガラス張りのカーテンウォールで、開放的なモダンデザイン。緻密なミニマリズムを追求し、階段ホールや会議室の照明など、時代を先取りしたデザインは今も色褪せていない。

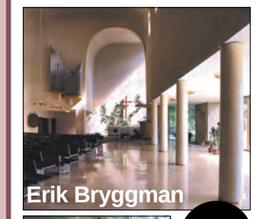
SAS Royal Hotel SASロイヤルホテル
デンマークにおける国内初の高層ビル建築は、徹底した完璧主義によるトータル・デザインの集大成。家具、照明、カーペット、ドアノブ、カトラリーにいたるまですべてのデザインをトータルで手掛けた、世界初のデザイナーズホテル。現在もラディソンブルーロイヤルホテルとして営業している。

Seven Chair
ロドオア市庁舎のためにデザインされた〈セブンチェア〉。高度な加工技術を用いて、軽く使いかってが良く、耐久性に優れ、スタッキング機能をもつ機能性の高い椅子。

Aarhus City Hall
オーフス市庁舎

時計塔の有無を巡って、物議をかもしたモダニズムの傑作。とくに建物内部は螺旋の曲線が活かされ、白を基調に、壁やホールの床一面には組木を使った木のぬくもりに抱かれている。そのデザインセンスは家具や照明はもちろん、灰皿やドアノブなど細部にまで及ぶ。

Swan Chair・Egg Chair
SASイヤルホテルのロビーやラウンジで使用するためにデザインされた2種類の椅子。白鳥をイメージさせる革新的な曲線のみのフォルムへ（スワンチェア）。包み込まれるようなプライベート感のある〈エッグチェア〉。



Erik Bryggman

トゥルクの復活礼拝堂

エリック・ブリュッグマン (1891–1955)
フィンランド随一の教会建築として揚げられることもあるトゥルクの復活礼拝堂。アスプルンドの影響を感じさせるその繊細な表情は「スウェディッシュ・グレイス」と呼ばれている。ブリュッグマンはトゥルクに根ざし、数多くの建築を残している。
- オーボ・アカデミーの学生会館 1935
- トゥルクの復活礼拝堂 1941

Eero Saarinen
ゲートウェイアーチ（セントルイス）

エーロ・サーリネン (1910–1961)
父は建築家エリエル・サーリネン。ヘルシンキに生まれ、移住したアメリカを拠点に活動。セントルイスのゲートウェイ・アーチなどの建築、チューリップチェアなど数々のプロダクトを手掛け、ミッドセンチュリーの中心人物として活躍した。
- MITチャペル 1955
- インガルス・ホッケーリンク 1958
- TWAターミナル 1962
- ダレス国際空港ターミナル 1962
- ゲートウェイ・アーチ 1964 ●CBSビル 1965

Jørn Utzon
オペラハウス（シドニー）

ヨーン・ウツソン (1918–2008)
デンマークの建築家。シドニー・オペラハウスの画期的デザインで注目された。建設に際して様々なトラブルに見舞われたため「悲劇の建築家」と呼ばれたものの、完成後は世界的建築物としての評価が確立し、2007年にはユネスコ世界遺産に登録された。
- シドニー・オペラハウス –1973
- フレーデンスボルグの集合住宅 1963
- クウェート国際会議場 1972
- バウスベア教会 1976

Sverre Fehn
氷河博物館

スヴェレ・フェーン (1924–2009)
ノルウェーのモダニズム建築を支えた建築家。「建築は周囲の環境をより美しく見せるものでなくてはならない」という信念のもと、自然環境と建造物との調和をとくに重視した。最先端の建築技法と簡素な建築手法を融合させ、ノルウェーの自然・風土のなかで表現した。
- ブリュッセル万博ノルウェー館 1958
- ヘードマルク博物館 1988
- ビラ・プスク 1990
- 氷河博物館 1991

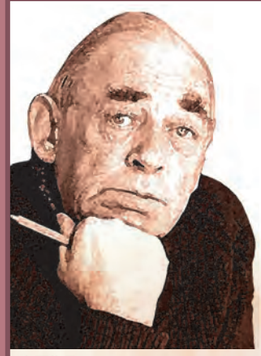
Juha Leiviskä
ミュルンマキ教会

ユハ・レイヴィスカ (1936–)
フィンランドで最も著名な建築家のひとりで、照明などのプロダクトやピアニストとしても才能を発揮している。光と音の建築家とも称され、繊細なフォルムと光の絶妙な陰影が織り成す空間が印象的。光と影の絶妙な旋律がこころに問いかけてくる。
- ミュルンマキ教会 1984
- オーロラリンナ複合住宅 1990
- マンニスト教会 1992
- パキラ教会 2002

Alvar Aalto

アルヴァ・アールト (1898–1976)

20世紀を代表するフィンランドの建築家・デザイナー。建築に機能を与えるものという、それまでの家具の付随的な関係を見直し、建築と家具を〈マリアージュさせる〉ことで新たな美学をもたらした。素材や技術に対するさまざまな考察・実験の積み重ねによって、建築や家具・照明・プロダクトなどをクロスオーバーさせて生み出された複合建築。それはミニマムな機能主義でありながら、住まう人・使う人の五感に寄り添う理想的な空間として形づくられている。世界的に有名な建築家でありながら、そのほとんどはフィンランド国内、多くが地方に残され——まさにフィンランドに根ざした建築家でもある。自然と真摯に向き合い、光と風、音までもが緻密に計算されたデザインは、知れば知るほど奥深い。



主要作品
- ムーラメの教会 1929
- パイミオのサナトリウム 1933
- アアルト自邸 1936
- マイレア邸 1938
- MITベーカーハウス 1949
- セイナッツァロの役場 1952
- 夏の家（コエ・タロ） 1953
- アアルトのアトリエ 1956
- ヴォクセンニスカ教会 1958
- 文化の家 1958
- セイナヨキの教会 1960
- ヘルシンキ工科大学 1966
- フィンランディアホール 1971

Sanatorium Paimio パイミオのサナトリウム

アールトが才能を開花させ、世界に広く知られるきっかけとなったパイミオのサナトリウム。結核患者の療養所として、建物の構造はもちろん、視線や人間工学に考慮して、インテリアや設備の細部にまで、患者のための機能的デザインが試みられている。ここから20世紀を代表する名作〈パイミオチェア〉が生まれた。

パイミオチェアNo.41
サナトリウムのためにデザインされたアームチェア。背面と座面の二次元曲線は結核患者の呼吸を楽にするためのもの。まさに機能美を追究したアールトの傑作。

Villa Mairea マイレア邸
Artek社の出資者でもあるグリクセン夫妻の邸宅として手掛けられた傑作（マイレア邸）。実験的プロジェクトとして練りに練られたディテールが重層的に絡み合い、採光に配慮した窓、空間の配置、木の効果的な素材感、照明・インテリアひとつひとつに完成度が極められている。竹や籐を使った日本建築の要素も巧みに取り入れられ、まさに空間の質を追求したアールトの情熱と高い美意識が肌で感じられる。

素材、フォルム、バランス…完成された空間。

Finlandia Hall フィンランディア・ホール
外壁の白い大理石と青い空のコントラストが見事なヘルシンキを象徴する巨大施設。音楽と自然と人の調和が意識された造形美は晩年の傑作とされる。

Vuoksenniska Church
ヴォクセンニスカ教会

白い空間に立つ3つの十字架、3つの大きなアーチを持った天井、あらゆる方向に設けられた開口部、祭壇を照らすトップライト——いずれも計算された有機的かつ幾何学的なディテール。機能的で自由な空気が教会建築にも活かされ、堅苦しさを感じさせないやすらぎを与えてくれる。

注目の北欧建築

VM Houses
VMハウス (2005)
コペンハーゲンを拠点に活躍する新進建築家ビャルケ・インゲルスとジュリアン・デ・スメド（ベルギー）の共同プロジェクトによるVM Houses。印象的なジグザグのフォルムは、彫刻的発想と機能面から生み出された。環境・社会に向き合い、建築の新しいスタイルを模索している。

Den Sorte Diamant
ブラックダイヤモンド (1999)
デンマークの建築家集団シュミット・ハマー・ラッセンの設計によるデンマーク王立図書館。黒い大理石の外壁とガラスで覆われ、ブラックダイヤモンドと呼ばれている。ガラスのアトリウム、波形のバルコニー、空中通廊など斬新なデザインが目を引くヨーロッパ最大の図書館。

Louisiana Museum of Modern Art
ルイジアナ美術館 (1958)
世界一美しいと称されるルイジアナ美術館。建築家ヨルゲン・ボーとヴィルヘルム・ヴォラートのふたりが設計を手掛け「芸術と建築、自然景観との共生」を理念に、芸術作品まで巻き込んだランドスケープが素晴らしい。

Kampin Kappeli
カンピ礼拝堂 (2012)
ミッコ・スマネンが手掛けた温もりあるカンピ礼拝堂。もみの木の曲げ木を幾重にも折り重ねて造られた曲線のフォルムと木の香りが漂う静かな空間は心洗われるよう。（静寂との出会いの場）として市民に自由なやすらぎの空間を提供している。

Temppeliaukion kirkko
テンペリアウキオ教会 (1969)
スオマライネン兄弟によるアイデアが斬新なテンペリアウキオ教会。自然の岩を大胆に活かした壁面に、180枚のガラスから降り注ぐ自然光は神秘的で、独特の雰囲気を漂えている。音響効果が優れているため、コンサート会場としても利用されている。

Wooden-Skyscraper
北欧の中高層木造建築

構造素材は鉄とコンクリートというのが高層建築の常識。ところが最近、木造の中・高層建築が世界各地で登場している。ストックホルムに計画中の木造スカイスクレイパーは34階建（2023年完成予定）。完成すると世界一高い木造建築物となる。木は断熱性に優れ、軽量なので輸送コストも抑えられ工期の大幅な短縮が可能。CO^2の排出量や廃棄物も削減でき、林業の育成にもつながる。問題なのが耐震性と耐火性。しかし素材の特質を活かした工法、技術革新によって問題は解決されつつある。欧米よりも厳しい耐震性が求められる地震国日本でも、技術の向上にともない、近い将来、木造高層ビルが誕生することだろう。

北欧のモダニズム建築に影響を与えた日本建築

「空間の解体と変化は、明らかにわれわれの空間概念となっていく…」と日本建築を意識していたアスプルンド。また、アールトはストックホルムの国立民族誌博物館にある茶室「瑞暉亭」を訪れ、簡素な日本の美に深く影響を受けたとされる。経済発展のなかで日本では置き去りにされてゆく日本建築の美と理念にいち早く注目したふたりの巨匠。開放的で柔軟、内と外の一体感など、日本建築から導き出された新たな空間概念は、やがて北欧モダニズムの流れとともに、様々な要素として活かされていった。

読者プレゼント!

アルヴァ・アールトデザインのフラワーベースを2名様にプレゼント!
詳しくは裏表紙のプレゼントコーナーをご覧ください。
ご応募お待ちしております。

我が家の快適日和
Living inspection

建築家とのコラボレーションによって、デザインと機能性を併せ持つ高機能デザイン住宅〈ARCHIPELAGO〉。
天井・床のオーク材が心地いい開放的なリビングは、窓を挟んで奥行きあるバルコニーへと続く。背の高い壁を設け隣家とのプライバシーにも配慮。

絶妙なデザインと機能性が奏でる光・風・木のハーモニー。

2階にリビングが設けられた開放的なレイアウトと上質感。
機能的かつ温かみが感じられる白を基調にした室内。
アイデアとセンスきらめく、光と風と木に抱かれたナチュラルな空間が、
この上ない心地よさへと誘う。

Harmonicity & Impression

神奈川県 K邸

シンプルで瀟洒な外観。

リビング・ダイニングを中心に人を繋ぐ住空間。

家族の集まるリビングが、住まいの中でもっとも大切だと感じていたKさん。そこでリビング・ダイニングに重心をおいて住まいづくりが始る。設計・デザインは、住まう人の視点から巧みにその理想像を描き出す建築家の坂下兼三氏。2階全面のLDKはバルコニーへ繋がる空間のひろがりとともに、ゆったりとした開放感に抱かれている。アイランドキッチンや広いダイニングテーブル、人が自然に集う、光と風を感じる心地いい空間は、まさに家族を繋ぐ住まいだ。

アイデアのエッセンスと、デザインのスパイス。

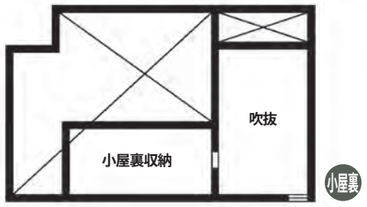
1階のプライベートな落ち着いた雰囲気から階段を上がると視界が一気にひろがり、訪れた人に強い印象を与える。ゆったりとしたリビングは大きな窓を通して奥行きあるバルコニーへと繋がり、そこは陽光降り注ぐスカイリビング。背の高い壁によって開放感とともにプライバシーへの配慮もなされている。壁面を効果的に利用した収納、階段のアイアン製手摺、勾配天井、高窓、天井高に変化をつけたゾーニングなど、アイデアとさりげないセンスが随所に散りばめられて、住まいの上品な装いを感じさせる。

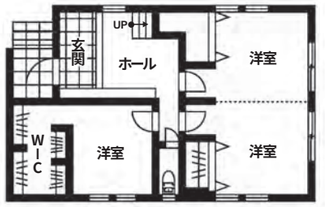
左上：ロングサイズのダイニングテーブルはキッチンのワークトップとともにオーダー仕様。爽やかな木の風合いが心地いい。　右上：機能的なアイランドキッチン。2階全面に施された蓄熱式温水床暖房で冬も快適。
左下：高いリビングの天井。ダイニング・キッチンは、天井高に変化を持たせ、かつ小屋裏収納として活用。　右下：入口からホールにまで続く収納スペースがが印象的な玄関。アイアン製の手摺が小気味良いアクセントに。

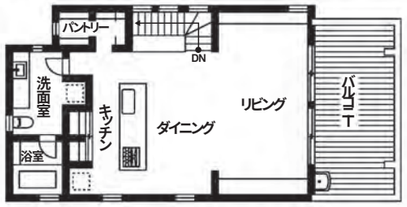
絶妙な調和から生み出される理想の心地よさ。

無機的になりがちな白い壁面も、木のやさしい色調やインテリア・照明と相まって温かさに満ちている。そしてデザイン面だけでなく断熱・遮熱・蓄熱式温水床暖房など、住宅性能にも優れているのが高機能デザイン住宅ARCHIPELAGOの大きな特徴。だから一年を通して快適な暮らしをしっかりと支えてくれる。そして住まう人を中心とした設計・デザインが成し得る絶妙な住み心地。デザイン・空間レイアウト・機能性――そのすべてが上手く調和した理想の住まいとして仕上げられている。

2階から階段を下りると広い玄関ホールへ。







2階リビングから続くバルコニーは、日差したっぷりで植物にとっても快適な環境。大きな鉢植えも並べても、ゆとりのスペース。

House Data

■敷地面積／100.04m²（30.26坪）
■延床面積／107.89m²（32.64坪）
■1階面積／ 52.78m²（15.46坪）
■2階面積／ 55.11m²（16.67坪）
■小屋裏面積／ 10.57m²（ 3.20坪）
■構造／2×6壁工法・2×8屋根構造

●お問い合わせ／ジューテックホーム（株） 0120-206-244

悦楽時間の住人

人がいて、そこに住まいがある。仕事と余暇、そしてこだわりのライフスタイル。
そんな暮らしの情景を訪ねる――悦楽時間への旅。

●北欧の建築ガイドブック
『図説・北欧の建築遺産
――都市と自然に育まれた文化』
（河出書房新社）

第31話 北欧建築史家 東海大学国際文化学部教授 伊藤 大介さん

●1956年、東京生まれ。
●1980年、東京大学工学部建築学科卒業。
●1984-1986年、フィンランド政府給費留学生としてヘルシンキ（オタニエミ）工科大学に学ぶ。
●1988年、東京大学大学院工学系研究科（建築学）博士課程修了、工学博士。
●西洋建築史が専門で、とくに北欧フィンランドの建築や都市文化論、近代的住環境の形成過程の研究における第一人者。
●現在、東海大学国際文化学部 国際コミュニケーション学科教授
■日本建築学会、建築史学会、北ヨーロッパ学会、北欧建築・デザイン協会 所属

〈著書〉
『アールトとフィンランド―北の風土と近代建築』(1990・丸善)
『図説・北欧の建築遺産
―都市と自然に育まれた文化』(2010・河出書房新社)
『ヘルシンキ―森と生きる都市』(共著)
『図説年表・西洋建築の様式』(共著)
『北欧学のすすめ』(共著)など、研究論文・著述多数。

■研究室オフィシャルサイト
www.sapporo.u-tokai.ac.jp/daisukeito/

●研究室のある札幌郊外の東海大学キャンパス

●研究対象の一例
アールト設計「マイレア邸」のインテリア

●ゼミの授業風景
学生たちのディスカッション

●海外フィールドワーク
ペタヤヴェシの木造教会（フィンランド）

北欧建築の歴史研究における第一人者の伊藤大介さん。自然・風土・文化など多面的なアプローチと豊富な現地調査に基づいた視点、深い考察によって、北欧建築の真髄に迫る。現在、札幌郊外の大学キャンパスで教鞭を執る伊藤さん。フィンランド文化の底流が地方にあるように、北海道という北の大地から文化の芽を育むべく、建築を基軸にした幅広い視野で、北欧文化の研究・講義に奮闘している。

伊藤さんが北欧に興味を抱いたのは大学在学中のことで、意外にも、所属していたオーケストラで出会ったシベリウスの音楽がきっかけだった。その音色には、クラシックの他の巨匠たちと、どこか異なる空気を感じたのだという。そしてアールトの建築やフィンランドデザインにも共通して流れていることに気づいた。いつの間にか、すっかりフィンランドに魅せられてしまった伊藤さんは、大学卒業後にフィンランド政府の給費留学生としてヘルシンキへと旅立った。

当時はミッドセンチュリーの輝かしい時代が終わりを告げ、21世紀以降の北欧ブームとの狭間にあって、北欧への関心も落ち着いていた時期。二年半の滞在は伊藤さんにとって建築のみならず、自然や文化をゆっくりと肌で感じる時間であり、フィンランドの根底に共通して流れる“ 何か ”を見つける旅だったのかもしれない。やがてフィンランドから他の北欧諸国、さらにヨーロッパ各国へと視野は広がってゆく。欧州におけるフィンランドの立ち位置、歴史的コンプレックスが原動力となった北欧デザイン、建築がいかに自然や風土と密接に関係しているのかなど、得られた見識は現在の研究の原点となっている。アスプルンドの代表作、森の墓地を例に挙げてみても――下地となるスウェーデン人の死生感、下草が生い茂る日本の気候ではあの景観は維持できない――つまり北欧でなければ作り得なかった建築だということだ。また、教会の存在抜きにして北欧建築は語れない。教会が建築デザインに大きく寄与しているのだとか。北欧の教会は精神の拠り所となりながらも、厳格な宗教観に縛られない自由な空気がある。今も建築家の登竜門として、教会の設計が注目を集める。そこから世界的に注目される数多くの北欧の建築家とともに教会建築が生まれた。詳細は、伊藤さんの「北欧モダニズムの成立に関する総合的研究――フィンランドの教会建築を事例として」(研究室のサイトに掲載中)に綴られている。いずれは、その研究成果を解りやすくまとめた北欧の教会建築ガイドブックとして上梓することも検討中だとか。

この夏も、伊藤さんは野外授業「海外フィールドワーク」で学生を連れて北欧やバルト諸国を巡る。そこには実際に現地で歩いて、観て、触れた、さまざまな体験を広い視野で今後に生かして欲しいという想いがある。建築史の専門家でありながら、その見識は建築に留まることなく、北欧の様々な分野に及ぶ。だから北欧建築を軸にした伊藤さんの話はたいへん興味深く面白い。著書「北欧の建築遺産」も建築史という枠に捉われない、自然や都市、文化など多彩な側面からわかりやすく解説された良書だ。北欧の建築やデザインに興味ある方はもちろん、これから北欧旅行を予定している方にとっても、貴重な見学ガイドブックだといえる。北欧の建築、文化を大きく俯瞰できる一冊として、ぜひおすすめしたい。

シベリウスをこよなく愛し、北欧そして北海道の豊かな自然が肌に合っているという伊藤さん。歴史を知ることによって、その文化や建築、デザインもより深く理解できる。20世紀以降、さまざまな文化面でお互いに影響しながら、多くの共通点と異なる側面を持つ日本と北欧。そんな北欧文化研究の拠点として、北欧の時間を巡る伊藤さんの研究に終わりはない。日本と北欧を繋ぐ文化の架け橋となって、これからも北欧の“ 何か ”を探る旅も続いてゆくことだろう。

WELL□DO Check!!
壁紙の簡単リフォームでリフレッシュ!
北欧デザイン壁紙

お部屋の雰囲気は壁紙だけでガラリと変わります。全面模様替えで大胆にリニューアル、あるいは玄関・リビング・寝室などの壁の一面だけをアクセントクロスをつかっておしゃれコーデ――など、手軽にお部屋を雰囲気UPしてみませんか。「Boråstapeter」はスカンジナビアの壁紙をリードするスウェーデンの高品質ウォールペーパーブランド。環境に配慮した素材・製造法、デザイン性と機能性を兼ね備えた壁紙は世界で幅広く愛用されています。スカンジナビアの伝統的なデザインからモダンデザインまで、豊富なラインナップを取り揃えています。ジューテックホームでは、只今キャンペーン実施中! ご相談・お見積りは無料です。お気軽にお尋ねください。

〈不燃認定不織布壁紙〉
●防火性能／不燃・準不燃
防火種別1-6
●ホルムアルデヒド等級／
F☆☆☆☆（大臣認定）

BORÅSTAPETER

＊上記パターンの一部です。他のデザインはお気軽にお尋ねください。

WELL REFORM ウェルルフォーム キャンペーン実施中!

北欧デザイン壁紙に関するご質問・ご相談はお気軽に。 フリーコール 0120-206-244
ツーバイシックスにしよう!

Weekend Hiking Autumn

＊週末ハイキング案内＊

二子山 西岳・東岳

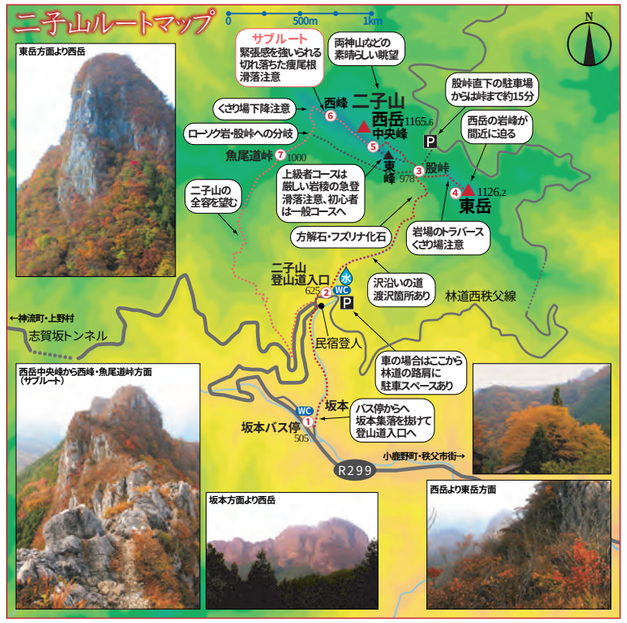
Futagoyama Nishidake1,165.6m・Higashidake1,126.2m

二子山西岳

群馬県との県境に近い秩父の最奥に位置する二子山。1000mあまりの標高ながら、急峻な石灰岩からなる双耳峰は圧倒的荒々しさを誇り、山頂からの眺めがすばらしい。訪れる人も比較的少なく、ほどよい歩行時間なので、初歩的な岩場の歩行に問題さえなければ、ゆとりある日帰りプランが可能。ただし岩場では滑落に注意が必要。とくに魚尾道峠方面の岩稜（サブルート）や西岳の上級者コースは慎重に。荒天時は避けて、好天に恵まれた紅葉の時期に出かけたい。

Access＞🚃西武秩父線・西武秩父駅⇔〈西武バス0:37〉⇔小鹿野⇔〈西武バス0:32〉⇔坂本
🚌関越自動車道・花園IC⇔R140・秩父市街1:00⇔R299・小鹿野経由0:50⇔二子山登山道入口
※坂本までのバスは便数が少ないので注意。※林道西秩父線「二子山登山道入口」先の路肩に駐車可（約10台）。

Course time＞①坂本バス停→0:20→②二子山登山道入口（駐車スペース）→1:10→③股峠→0:40→④二子山東岳→0:30→③股峠→0:45→⑤西岳中央峰→0:35→③股峠→0:45→②二子山登山道入口→0:15→①坂本バス停
（サブルート⑤西岳中央峰→0:30→⑥西岳西峰→0:30→⑦魚尾道峠→0:50→②二子山登山道入口）
total＞🚃5時間 🚌4時間25分（サブルートを利用した場合🚃5時間30分 🚌4時間55分）
（休憩を含まない歩行時間）＊ゆっくり歩いた際の参考タイムですが、経験や体調などによって変わります。



●小鹿野両神観光協会 Tel.0494-79-1100・http://www.kanko-ogano.jp/trekking/
●西武観光バス Tel.0494-22-1635（8:30～18:00）・http://www.seibukankoubus.co.jp/

北欧スイーツキッチン

北欧のおいしいお菓子㉘ マウステカック（スパイスケーキ）

コーヒーにとても相性の良いスパイスたっぷりのケーキです。カルダモンはあらびきを使うのがフィンランドスタイル。よりスパイシーになりますので、お好きな方はあらびきを使ってみてください。

材料（16cmクグロフ型）

- 卵……2個
- てんさい糖……80g
- 無縁バター……100g
- サワークリーム……100g
- 薄力粉……200g
- ベーキングパウダー……小1
- シナモンパウダー……小1
- ジンジャーパウダー……小1/2
- カルダモンパウダー……小1/2
- クローブパウダー……小1/4

＊協力／自然焼菓子工房OCO

作り方

❶卵をボールに入れてほぐし、塩をひとつまみ（分量外）、てんさい糖を入れて、湯煎にかけて混ぜながら砂糖をよく溶かし、人肌になるまで温める。
❷泡立て器で白っぽくもったりするまで混ぜる。
❸サワークリームを軽く混ぜ、湯煎にかけて溶かしたバターを温かいうちに加えてさらによく混ぜる。
❹③を②に加えて、ヘラでなじませるように混ぜる。
❺小麦粉、ベーキングパウダー、スパイス類を合わせて振るい入れて、粉気がなくなるまでさっくりと混ぜる。
❻バターを塗った型に流しいれて、170℃で約50分焼く。焼き上がったら型からはずして、網の上で荒熱をとる。

［プレゼント応募ハガキ］

恐れ入りますがアンケートにご協力ください。

■現在お住まいの居住形態は?
□一戸建て □分譲マンション
□賃貸一戸建て □賃貸マンション □アパート
□その他（ ）

■ジューテックホームを何で知りましたか?
□WELL-DOを見て □当社ホームページ・ブログ □検索エンジン
□検索エンジン以外のWeb媒体 □個人のブログ・Webの口コミ等
□住宅情報誌 □雑誌・情報誌広告 □チラシ・DM □イベント・展示会
□モデルハウス □街頭広告・看板等 □ご家族・ご親戚・お知り合いの紹介
□当社営業担当 □その他（ ）

■現在住宅の購入をお考えですか。
□すでに購入している □2～3年以内に購入予定
□時期は決めてないが予定している □予定はないが、いずれ購入したい
□購入の予定はない

■購入を予定されている方にお尋ねします。
●どんな住宅をお考えですか。
□注文住宅 □建売住宅 □マンション □リフォーム
□リゾート・セカンドハウス □その他（ ）
●住宅の購入に際して特に重視する点は?（複数選択可）
□耐久・耐震性 □居住性 □デザイン □健康・環境性能 □省エネ性能
□内装・設備 □立地・環境 □間取り □外観 □採光 □収納力
□アフターメンテナンス □価格 □その他（ ）
●ジューテックホームへのご要望がありましたらご記入ください。

■高性能住宅ジューテックホームの資料、イベントのご案内など、お得な情報をお届けいたします。 □希望する □希望しない

2015AU

ご協力ありがとうございました。

個人情報保護シート
JUTEC HOME
JUTEC HOME

料金受取人払郵便

都筑局承認
227

差出有効期間
平成29年5月
31日まで
〈切手不要〉

224-8790

（受取人）
横浜市都筑区新栄町4―1
ジューテックホーム株式会社
快適生活情報誌ウェルドゥ編集係 行

お名前	フリガナ	ご年齢　歳 性別　男・女
ご住所	〒	
お電話	―　　―	
E-mail	@	
ご職業		
同居のご家族	単身・夫婦・夫婦と子供1人・夫婦と子供2人 夫婦と子供3人以上・親と同居・3世代同居 その他（　　）	

キリトリ線

↑折り線（谷折り）↑

お手数ですが、個人情報保護のため、折り線に沿ってを谷折りにして、のりしろ部分を糊付けして貼り合わせてください。

のりしろ　のりしろ

［読者プレゼント応募ハガキ］

■応募方法／上記ハガキに必要事項および裏面のアンケートにご記入の上、キリトリ線で切り離して、折り線に沿って貼り合わせてください。切手は貼らずにそのままポストに投函してください。
■応募締切／2015年10月31日必着
■当選発表／プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
※ご記入頂いた個人情報ならびにアンケートの内容はプレゼント発送および資料請求やご案内などの発送目的で使用させていただきます。ご記入頂きました個人情報は、ジューテックホーム株式会社が責任をもって管理・保管致します。

のりしろ

Present

必要事項および裏面のアンケートにご記入ください。

読者プレゼント!

革新的な曲線のフォルムが美しいサヴォイベースと呼ばれるアルヴァ・アールトデザインのフラワーベースを2名様にプレゼント!!

●材質／無鉛ガラス
●サイズ／約W105×D100×H95mm
●iittala（Made in Finland）

■応募締切2015年10月31日必着
■発表は発送（11月）をもって代えさせていただきます。

※形状には5mm前後の個体差があります。

R100　PRINTED WITH SOY INK　この情報誌は、古紙配合率100%再生紙を使用し、環境にやさしい植物性大豆油インキで印刷しています。

快適生活情報誌WELL-DO Vol.36 2015AUTUMN（秋号） 2015年9月10日発行（年4回発行）
※本誌の写真および記事の無断転載はお断りします。

Information
お役立ち情報

お絵かきコンクール2015
テーマ「ぼくの、わたしの未来の家」

作品募集!

こんな家があったらいいな。こんな家に住んでみたいな。そんな家をイメージして描いてください。入賞作品は展示予定、また入選作品の中から、とくに優れた作品を選んで、受賞作品を表彰します。作品を直接お持ちいただいた方には、参加賞を差し上げます。ふるってご応募ください。みなさんの力作お待ちしています。

応募要項

■応募対象／小学生6年生までのお子様
■応募期間／2015年7月1日～12月27日
◆第2回締め切り／10月31日
◆第3回締め切り／12月27日
第1回～第3回のそれぞれで入選作品を発表。
さらに入選作品の中から受賞作品を表彰。
■各賞／
●大賞〈1作品〉
ディズニーパーク親子チケット（大人2・小人1枚）
またはリフォームチケット3万円相当
●優秀賞〈幼児・小学1～3年・小学4～6年の部門で各2作品〉
トイザらス・ギフトカード5,000円
●審査員特別賞〈3作品〉トイザらスギフトカード2,000円
●佳作〈複数作品〉素敵なプレゼント!
●参加賞／直接作品をお持ちいただいた方に差し上げます
■応募方法／
・使用する画材・手法は自由です。（ただし平面作品に限ります）
・B4サイズ（364mm×257mm）の白い用紙。タテ・ヨコは自由です。
・必ず裏面に、お名前・学年（年齢）・性別・ご住所・お電話番号・保護者の方のお名前・メールアドレス・作品のタイトル・コメントをお書き添えください。
・未発表作品であれば、応募点数に制限はありません。
※応募作品は原則、返却致しません。
※応募などの目的で使用する際の二次使用権はジューテックホーム株式会社に帰属します。
※応募作品は当社の広報目的での展示、使用、Webサイトでの掲載を予めご了承ください。
※各回締め切り後に、入選作品を発表・展示予定。
2016年1月に各賞の発表並びに表彰を予定しています。

●応募先／まちかどモデルハウス都筑の家
またはリフォーム相談会の各会場まで
郵送の場合は、ジューテックホーム（株）お絵かきコンクール係宛
〒224-0035 横浜市都筑区新栄町4―1　Phone 045-595-3222
ご応募お待ちしています!

Exhibition
おすすめ展覧会情報

マルモッタン・モネ美術館所蔵
モネ展 ―「印象、日の出」から「睡蓮」まで

マルモッタン・モネ美術館には、印象派を代表する画家クロード・モネ（1840-1926）の、86歳で亡くなるまで手元に残したコレクションが所蔵されています。本展は、息子ミシェルから同美術館に遺贈されたこのモネ・コレクションを中心に、約90点をご紹介するものです。子供たちの成長を記録した作品や友人ルノワールによるモネ夫妻の肖像画、旅先の風景画、白内障を患いながらも描き続けた晩年の作品などを通して、モネの豊かな創作の世界に迫ります。さらに本展には、非常に早い時期から印象派の作品を評価したド・ベリオ医師のコレクションから、「印象派」の由来となった《印象、日の出》が期間限定で特別出展されます。

2015.9.19［土］～12.13［日］
東京都美術館

クロード・モネ《印象、日の出》
1872年 油彩、カンヴァス 50×65cm
Musée Marmottan Monet, Paris © Christian Baraja
東京展 2015/9/19-10/18

●開室時間／9:30～17:30
金曜日、10月31日～11月2日は、20:00まで
＊ただし、《印象、日の出》展示期間
［9月19日-10月18日］の金曜日・土曜日、
並びに9月20日-22日、
10月11日は21:00まで
（入室は閉室30分前まで）
●休室日／月曜日、
10月13日（火）、11月24日（火）
＊ただし、9月21日（月・祝）、10月12日（月・祝）、
11月2日（月）、11月23日（月・祝）は開室
●観覧料〈当日（税込）〉
一般1,600円、学生1,300円、高校生800円、
65歳以上1,000円、中学生以下は無料
＊身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添いの方（1名まで）は無料
●アクセス
・JR上野駅「公園口」より徒歩7分
・東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅「7番出口」より徒歩10分
・京成電鉄京成上野駅より徒歩10分
●お問い合わせ／ハローダイヤル 03-5777-8600
●http://www.ntv.co.jp/monet/

～10.4［日］まで同時開催中!
ノルウェーから東京・上野へ!
キュッパのびじゅつかん―みつめて、あつめて、しらべて、ならべて
＊「マルモッタン・モネ美術館所蔵 モネ展」の半券を会場入口で提示の方（1枚につき1人）は、一般当日料金800円から300円引き

お住まいに関するご相談・ご質問はお気軽に
フリーコール 0120-206-244
ツーバイシックスにしよう!

理想の住まいをカタチに。
JUTEC HOME
ジューテックホーム株式会社
〈一級建築士事務所・宅地建物取引業〉
〒224-0035 横浜市都筑区新栄町4―1　Phone 045-595-3222
www.well-do.com

ジューテックホームモデルハウス
●営業時間／10:00～18:00
●水曜・年末年始定休